

〔 名 前 〕 丸目 満弓 (マルメ マユミ)

〔 職 位 〕 准教授

〔 保有学位 〕 博士 (教育学)

〔 担当科目 〕 子育て支援、幼児と人間関係、保育内容総論、児童保育実践学習 I・II、
総合基礎実習 I・II、卒業研究 I

〔 専門分野 〕 保育ソーシャルワーク、子育て支援

〔 学外活動 〕 日本保育学会会員
日本保育ソーシャルワーク学会会員
日本乳幼児教育・保育者養成学会
日本保育文化学会
日本 LD 学会会員
日本保育ソーシャルワーク学会紀要委員
子育て支援ソーシャルワーク研究所 代表

〔 主な教育・研究業績 〕

- ・ 博士学位論文「乳児保育における新たな保護者支援研究－連絡帳をツールとして－」

◆ 著書

- ・ (共著) 『福祉と教育の接点』 晃洋書房、2014
- ・ (共著) 『児童家庭福祉の相談援助』 建帛社、2014
- ・ (共著) 『現場から福祉の課題を考える～ソーシャル・キャピタルを活かした社会孤立への支援：ソーシャルワーク実践を通して～』 ミネルヴァ書房、2017
- ・ (共著) 『保育ソーシャルワーカーのおしごとガイドブック』 風鳴舎、2017
- ・ (共著) 『歴史との対話～現代福祉の源流を探る～』 大学図書出版、2018
- ・ (共著) 『保育・幼児教育のフロンティア』 晃洋書房、2018
- ・ (共著) 『改訂版保育ソーシャルワークの世界 ー理論と実践ー』 晃洋書房、2018
- ・ (共著) 『教育と福祉の基本問題ー人間と社会の明日を展望するー』 晃洋書房、2018

- ・ (共著) 『保育ソーシャルワークの思想と理論 (保育ソーシャルワーク学研究叢書第 1 巻)』 晃洋書房、2018
- ・ (共著) 『保育ソーシャルワーク(MINERVA はじめて学ぶ子どもの福祉 11)』 ミネルヴァ書房、2018
- ・ (共著) 『保育者論(MINERVA はじめて学ぶ保育 3)』 ミネルヴァ書房、2018 2019
- ・ (共著) 『保育者の協働性を高める子ども家庭支援・子育て支援―「子ども家庭支援論」「子ども家庭支援の心理学」「子育て支援」を学ぶ』 晃洋書房、2019
- ・ (共著) 『社会福祉 原理と政策』 ミネルヴァ書房、2021
- ・ (共著) 『保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典』 ミネルヴァ書房、2021
- ・ (共著) 『身近に考える人権:人権とわたしたち』 ミネルヴァ書房、2022
- ・ (編著) 『子どもと保護者に寄り添う「子育て支援」』 晃洋書房、2022
- ・ (共著) 『子どもと保護者に寄り添う「子ども家庭支援の心理学」』 晃洋書房、2022
- ・ (共著) 『児童・家庭福祉:子どもと家庭の最善の利益 (最新・はじめて学ぶ社会福祉 16)』 晃洋書房、2022
- ・ (編著) 『プラクティス/保育・福祉のはじまり 子ども家庭支援論』 ミネルヴァ書房、2024
- ・ (編著) 『プラクティス/保育・福祉のはじまり 子ども家庭福祉』 ミネルヴァ書房、2024
- ・ (編著) 『最新・はじめて学社会福祉 ソーシャルワークの理論と方法II(専門)』 ミネルヴァ書房、2024

◆ 学術論文

- ・ 丸目満弓(2005). 「治療場面における医療ソーシャルワーカーの関りについての一考察」. 大阪大学人間科学研究科ボランティア人間科学紀要 2005 年第 6 号. pp.15-362.
- ・ 丸目満弓(2006). 「医療機関における一番小さな単位の“チーム医療”についての一考察」. 湊川短期大学紀要第 42 集. pp.35-43
- ・ 丸目満弓(2010). 「我が国における産業ソーシャルワークの萌芽、その展望と課題」 近畿医療福祉大学紀要第 11 巻第 1 号. pp.57-68
- ・ 丸目満弓・立花直樹(2012) 「保育士をめざす学生のソーシャルワーク業務に関する意識および意欲についての一考察」. 兵庫大学短期大学部研究集録 No.46. pp.63-77
- ・ 丸目満弓・立花直樹(2013) 「地域子育て支援センターを利用する保護者が持つ育児不安に関する

- 一考察」兵庫大学短期大学部研究集録 No.47. pp.39-51
- ・ 丸目満弓(2013)「我が国におけるスクールソーシャルワーカーの専門職性に関する一考察：A 県 B 市のスクールソーシャルワーカーへのアンケート調査より」神戸医療福祉大学紀要 No.14. pp.95-105
 - ・ 丸目満弓(2015)「保護者支援の前提となる保育士と保護者間コミュニケーションに関する現状と課題 ―保護者アンケートを中心として― (査読付)」大阪総合保育大学紀要第 9 号. pp.173-194
 - ・ 丸目満弓(2015)「保育ソーシャルワークのツールとしての連絡帳活用の可能性について (査読付)」保育ソーシャルワーク学研究第 1 号. pp.25-40
 - ・ 丸目満弓・黒田将史・中村有美・野田正人・吉田卓司(2016)「配置型スクールソーシャルワーカーによる授業観察の現状と課題 ～A 県 B 市のスクールソーシャルワーカーへのアンケート調査より～」神戸医療福祉大学紀要 No.16. pp.83-92
 - ・ 丸目満弓(2016)「カナダ・ブリティッシュコロンビア州 における未就学期の子育て支援について」社会福祉士 2016 年度第 24 号. pp.61-70
 - ・ 丸目満弓(2018)「乳児保育における保護者支援研究―連絡帳の記述文字数及び保育士―保護者間の応答率の分析 (査読付)」大阪総合保育大学紀要第 12 号. pp.73-83
 - ・ 丸目満弓・渡辺俊太郎(2018)「保護者支援の前提となる保育士と保護者間コミュニケーションに関する現状と課題(2) ―保育士アンケートを中心として― (査読付)」保育ソーシャルワーク学研究第 4 号. pp.3-22
 - ・ 丸目満弓・渡辺俊太郎(2019)「カナダ・ブリティッシュコロンビア州における保育士(Early Childhood Educator)が行う保護者支援の現状 (査読付)」保育ソーシャルワーク学研究第 5 号. pp.63-77
 - ・ 大方美香・丸目満弓・浅川茂美ほか(2020)「教科書目次にみる「乳児保育」の教授内容 (査読付)」乳幼児教育・保育者養成研究第 1 号. pp25-34
 - ・ 矢野景子・浅川茂美・丸目満弓ほか(2020)「乳児科目の変遷にみる課題と展望 (査読付)」乳幼児教育・保育者養成研究第 1 号. pp67-76
 - ・ 梶美保・浅川茂美・丸目満弓ほか(2020)「「乳児保育」と「子どもの保健」科目を中心とした近隣科目との関連 (査読付)」乳幼児教育・保育者養成研究第 1 号. pp91-102
 - ・ 丸目満弓・八重津史子・渡辺俊太郎(2021)「保育所の困難事例における有効な子育て支援とその要因 (査読付)」保育ソーシャルワーク学研究第 7 号,pp.17-27
 - ・ 細井香・野尻裕子・丸目満弓ほか(2022) 研究資料「0 歳児保育室のあそび環境に関する現状と課題(査読付)」乳幼児教育・保育者養成研究第 2 号. pp103-118

- ・ 丸目満弓, 吉澤貴子, 藤井奈央子, 津坂雅淑, 平友希(2023)<実践報告>海外の保育実践を学ぶ～コロナ禍における学びの工夫～,大阪城南女子短期大学研究紀要 57 pp.121-128
- ・ 丸目満弓, 立花直樹, 渡辺俊太郎, 西川友理, 明柴聰史, 河崎美香(2023)「保育所における家庭訪問の実態と課題(1)ーフォーカス・グループ・インタビュー調査の SCAT による分析」保育ソーシャルワーク学研究第 9 号. pp.37-48
- ・ 西川友理, 明柴聰史, 河崎美香, 立花直樹, 丸目満弓, 渡辺俊太郎(2023)「民間保育所及び認定こども園の保育ソーシャルワークを担う職員が考える市町村行政との関係について」保育ソーシャルワーク学研究第 9 号. pp.21-35
- ・ 明柴 聰史, 立花 直樹, 丸目 満弓, 渡辺 俊太郎, 河崎美香, 西川 友理「保育ソーシャルワークに求められる機能と役割に関する研究」富山短期大学紀要 第 60 号. pp.25-38
- ・ 丸目 満弓, 吉澤 貴子, 三宅 正太(2024)「領域指導法(人間関係)における探索的授業実践(1)ー子どもの人権意識を育てるスウェーデンの保育実践紹介とグラフィックレコーディングのコラボレーション授業ー」大阪城南女子短期大学研究紀要 第 58 号.pp.93-102